

平成20年度 事業評価書

地 域 名	東京都福生市	選定年度	H18年度	事業規模	小規模事業
まちづくり協議会名	福生スクラム・マイナス50%協議会				
モデル事業名	福生スクラム・マイナス50%				

1. 事業の実施状況

委託事業	事業期間	H18年度	-
		H19年度	普及啓発事業として、省エネ・アドバイザー養成講座、研修のほか、環境関連講演会の実施、交付金事業で整備したエコライトハウスの見学会を実施。また、広報誌を作成したほか、上記講座の周知を目的としたチラシや、モデル事業を紹介するホームページを作成。
	事業終了後	平成20年度	事業期間終了後のため、事業は実施していない。
交付金事業	事業期間	H18年度	-
		H19年度	一般住宅及び医療・福祉施設等事業所に、高断熱化改修、高効率給湯器の設置を行うエコライトハウス事業を募集し、実施。
	事業終了後	平成20年度	事業期間終了後のため、事業は実施していない。

2. 評価・分析

①事業の特色・モデル性	エコライトハウス事業は、高断熱化リフォームや省エネ・新エネ機器の設置を支援することで、エネルギー消費のすくない住宅の普及を目指している。省エネルギーを軸に、ソフト事業も充実している。特に省エネ・アドバイザー養成講座は、講座の終了後も参加者の周辺から省エネに関する意識等が普及する可能性があり、期待できる。	
②環境保全効果 (二酸化炭素排出削減効果等)	二酸化炭素排出削減効果	備 考
	目 標 値	116 H18年度事業分
	実 績 値	77.0 H18年度整備施設のH20年度稼働実績
	(目標値・実績値単位:t-CO2/年)	
③経済活性化効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般住宅エコライトハウス事業 施工した世帯のうち、二酸化炭素削減目標値を大きく超えた世帯がある一方で、目標値に達していない世帯もある。省エネ普及啓発等を適宜行う等、改善への取組みが期待される。 ・ 事業所エコライトハウス事業 目標達成率は5割弱である。効果の詳細を把握するため、月別のCO2排出量を導入前後で比較しており、冷暖房期間の省エネ効果を把握できている。今後、このようなデータを基に、より効果的な取組み等を実施し、目標達成に取り組んでいくよう努力されたい。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般住宅、事業所エコライトハウス事業 省エネ改修工事等による直接効果が得られている。燃料費に関しては、省エネ導入後も削減できず、費用負担が増加した結果となっているが、この背景にはエネルギー価格急騰等の影響による。エネルギー価格が前年度と同様であると仮定した場合は、削減効果を充分得られた計算となる。 	
④その他		